

2009年5月1日 代々木公園B地区  
第80回  
雇用をまもれ  
貧困・生活危機突破! 変えるぞ大企業中心社会

働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義を中立的に日本をめぐらそう

新選法の抜本改正を  
高齢者差別の医療やめよ  
貧困と格差をなくせ!  
みんなが安心して暮らせる医療を  
憲法いかし平和な日本を  
中小企業地域経済の活性化を  
若者に希望ある日本を  
消費税増税反対  
生活できる賃金を

第80回中央メーデー実行委員会

# 拙速な特別調査にもとづく一時金の引き下げ勧告は断じて行わない!



人事院は4月6日、「緊急に民間の一時金の支給状況を把握する必要がある」とし、「臨時に民間企業における夏季一時金に関する特別調査を実施する」とを公表しました。

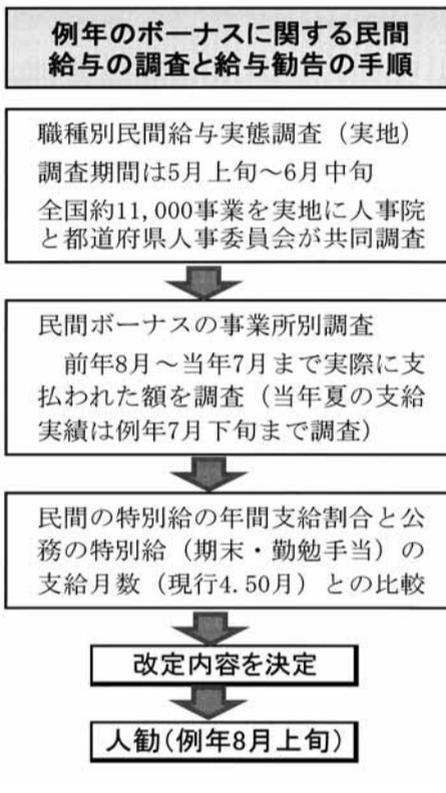
これは、政府・与党等の「6月一時金減額」の動きに迎合するもので、「暫定勧告」の危険性は大きく、国労連・全国税はこうした動きに断固反対し、職場から緊急打電や上申運動、ジャンボハガキ署名を展開、4月28日には、人事院本院に対する抗議行動を配置しています。

# 全国税

発行所  
東京都千代田区霞ヶ関  
財務ビル内(〒100-0013)  
全国税労働組合  
発行人 岡田 俊明  
電話 (03) 3581-3678  
FAX (03) 3507-0886  
振替口座 00140-2-68514

“税務の職場”  
何でも110番  
zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号まで)。  
◇全国税ホームページ◇  
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei



民間夏季一時金に関する特別調査の概要

調査期間  
4月7日~24日の18日間

調査対象企業  
抽出約2,700社

調査方法  
人事院による郵送調査(電話等により依頼実施)

主な内容  
①夏季一時金の支給の決定状況  
②夏季一時金の支給額・月数、従業員平均賃金  
③前年の状況

国家公務員の年間一時金は昨年の人勧で4・5カ月とすえ置かれ、6月は2・15カ月が支給されることになっていま

「民間大手企業の春闘結果」を理由に、政府・与党等はこれを1割カットしようとしています。

そのため、ボーナスの基準日である6月1日までに国会で成立させる策を強め、議員立法による給与法改正あるいは特別措置法制定を強行しようとしています。

この動きを後押し、加速させかねないのが、人事院の「特別調査」です。

今回の調査は、左表のとおり例年の調査とくらべ、極めて限定的で、概括的なものであることは明白です。

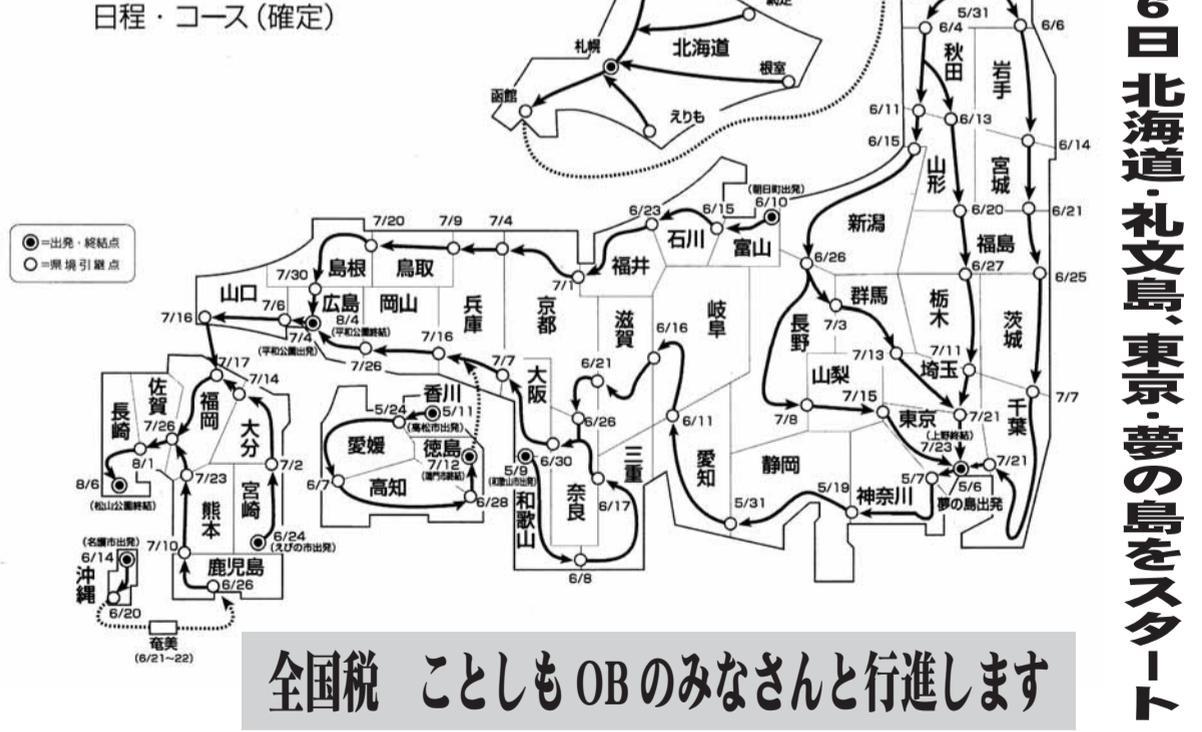
また、官民の一時金の比較方法は、前年8月から当年7月までの支給実績を調査するというルールが定着しており、今回はそれも一方的に無視するなど、労働基本権制約の代償措置機関としてあるまじき行為です。

多くの職員は、支給されることになっていない2・15カ月の6月一時金で、住宅・教育ローン返済などの予定を立てており、その影響は大です。

なにより、支給額が少ない青年職員にとって大打撃となります。

民間「後追い」の公務員の一時金を「前倒し」で削減しようとする今回の動きには職員だけでなく、その家族からも怒りの声があがっています。

## 2009年 国民平和進行



核兵器のない平和で公正な世界をめざしともに歩こう!

原水爆禁止

国民平和

大行進

つなごう。歩こう。

PEACE MARCH 2009.5月▶▶8月

ただ働きたけだったから、もう疲れてしまった/母さんのような陽の香りも、もう忘れてしまった/こんなことは、神様だって望んでいないはずだ/8時間は働こう、8時間は休むんだ、そして8時間は僕たちのやりたいことの、ためだ/いまから約120年前、シカゴを中心にいっせいにストライキにたち上がり、その中で歌われた「8時間労働の歌」の一節として、1890年5月1日は世界の労働者をはじめとして要求を掲げ共同してたたかっていた日。日本のメーデーも80回の節目を迎える。要求を掲げてとりくむのが、日本のメーデーの価値ある伝統です。

詰碁

〈出題〉九段 石樽郁郎  
黒先  
〈ヒント〉黒1、3の好手段で白を無条件に仕留めます。  
(10分で二、三段以上)

そらばん弾

ただ働きたけだったから、もう疲れてしまった/母さんのような陽の香りも、もう忘れてしまった/こんなことは、神様だって望んでいないはずだ/8時間は働こう、8時間は休むんだ、そして8時間は僕たちのやりたいことの、ためだ/いまから約120年前、シカゴを中心にいっせいにストライキにたち上がり、その中で歌われた「8時間労働の歌」の一節として、1890年5月1日は世界の労働者をはじめとして要求を掲げ共同してたたかっていた日。日本のメーデーも80回の節目を迎える。要求を掲げてとりくむのが、日本のメーデーの価値ある伝統です。

